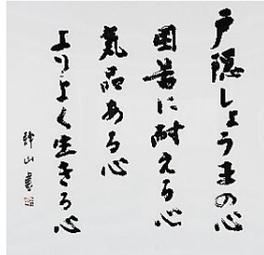




学校目標 「ともに学び 一人となる」



本校の矜持

目指す生徒像 「学びを拓いていく生徒」

学校経営の目標：予測困難な時代において新たな価値を創造できる人の育成

附属学校としての“三つの使命”

【教育実習】

専門性を身に付け、教師への憧れを育てる

【教育研究】

教育の理論及び方法について実証的に研究し、長野県及び全国の教育をリードする

【現職教育】

公開研究会や教育研究会を行い、地域の現職教育に役立てる。

目指す学校像

生徒や保護者・地域・県下の負託に応える学校

よりよい生き方を求める学校

未来を創造する資質・能力を育成する学校

【全校研究テーマ】「学びの本質に迫る学習の在り方」

- 重点①：問題発見・解決の過程において、各教科等の「見方・考え方」を働かせることができるようにする。
- 重点②：学んでいることや学んだことの意味や価値を自覚することができるようにする。

教科

- ・「見方・考え方」を働かせた、教科等の本質に迫る学びを目指した日々の授業研究・授業改善
- ・各教科等において、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図り、これらの活用を図る学習活動の創意工夫（探究する時間の設定）
- ・自己の感情や行動を統制する能力、自らの思考の過程等を客観的に捉える力（自己調整力）を育む教育活動の展開（学習計画の立案、振り返りの充実等）

領域

- ・道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む「特別の教科 道徳」の展開
- ・社会・本物（ヒト、モノ、コト）と関わり、各教科等で育成する資質・能力を相互に関連付け、実社会・実生活において活用できるようにする「総合的な学習の時間」の展開
- ・個々の感性を働かせて共に創り上げる、学校文化としての「附中の合唱」の再興と、「よき校風の樹立、自律的行為の発揮」を目指す学友会活動の充実

ICTの活用により、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学び（個に応じた指導）と、協働的な学びを実現し、多様な他者とともに問題発見・解決に挑む資質・能力を育成

- ・生徒同士、教師同士、生徒と教師、家庭と学校との対話を重視した、多様性を認め、相互理解に基づく教育活動の展開（教育相談、学年通信、学級PTA等の充実）
- ・本校で学ぶ意味、本校に勤務する意味を念頭に置き、「三つの使命」を通して、生徒・職員のもつ力を引き出し、地域のモデル校、社会に貢献に資する教育活動の創意工夫